

「令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大に係る実態調査」病院調査結果(抜粋)

(山形県看護協会調査)

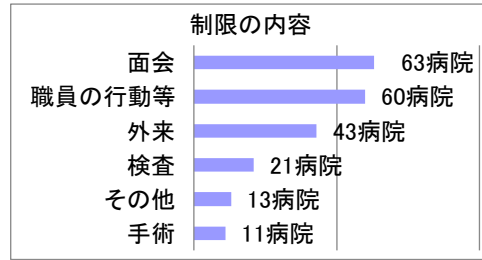
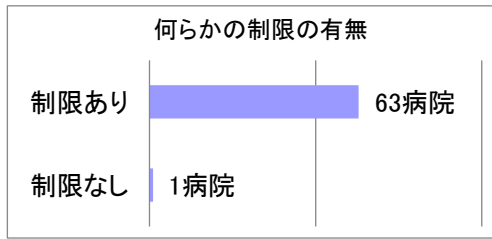
調査実施期間 : 令和3年7月16日～7月31日

調査病院数 67 病院 回収数 64 病院 回収率 96%

※山形県内67病院の令和2年7月以降の状況について

○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和3年6月時点で何らかの制限を設けていたか。

「制限あり」の場合、どのような制限内容であったか(複数回答)。



【具体的な制限内容】(複数回答)

1) 面会における制限内容

- ・基本的に面会禁止(56)
 - オンライン面会(17)
 - 終末期、せん妄の患者等状態不良時に主治医の許可がある場合は可能。時間・人数制限等あり(22)
- ・ドア越し、面会場所や面会時間が決まっている(4)
- ・入院期間も短いため許可していない(2)

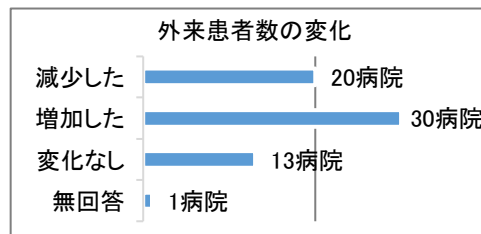
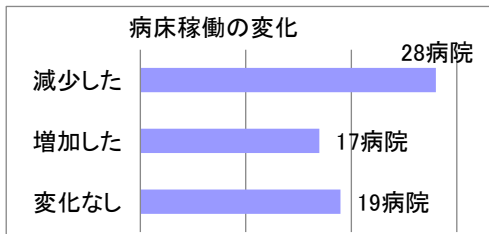
2) 職員の行動等における制限内容

- ・県外との往來の制限(50)
 - 県外・感染拡大地域との不要不急の往來は控える(50)
 - 往來する場合は報告・届出等の提出が必要(25)
 - 就業規制あり、PCR検査後陰性であれば出勤可(4)
- ・会食、外食の制限(21)
- ・県外者との接触の制限、接触歴の報告(7)

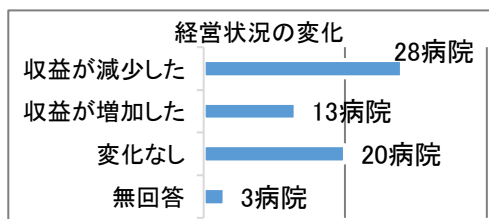
3) 外来における制限内容

- ・受付・来院時にトリアージを行う(14)
- ・有症状者の対応(14): 発熱外来でPCR検査、診察室を別にする など
- ・県外からの受診者の制限(10): 2週間自宅経過観察後の受診、待合室を別にする、電話診療 など
- ・電話診療の推進(5)、付添い者の制限(4)

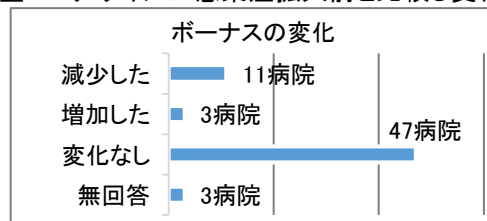
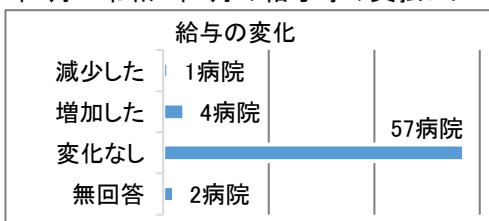
○令和3年6月の病床稼働、外来患者について、令和2年6月と比較して変化したか。



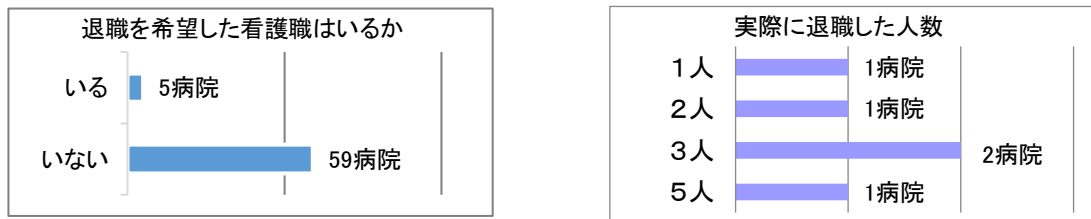
○令和3年6月時点の経営状況について、令和2年6月と比較して変化はあるか。



○令和2年7月～令和3年6月の給与等の支払いについて、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較し変化はあったか。



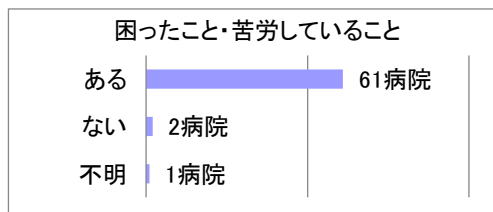
○新型コロナウイルス感染症を理由に退職を希望した看護職はいるか。実際に退職した看護職の人数。



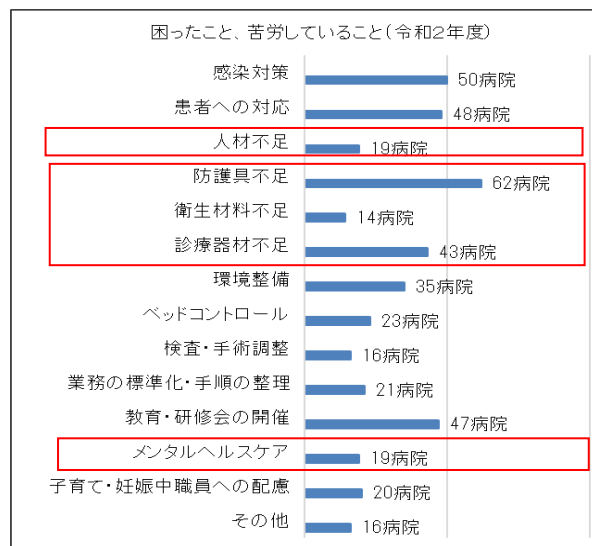
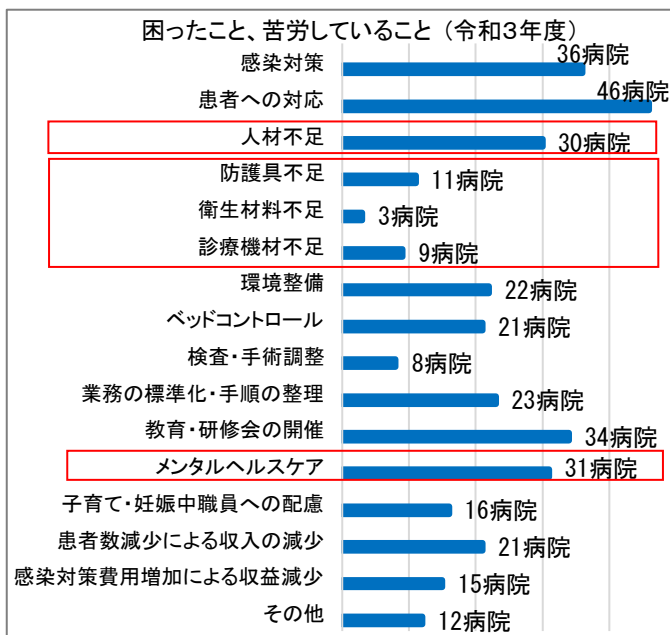
○経営状況とそれによる看護職の現状についての意見

- ・外来患者の受診控えによる診療報酬減少を入院診療報酬により、カバーしている。地域の民間の中小規模の病院は、自助努力だけでは、早晚、経営は困難となることが推察できる。地域の特性をふまえた診療報酬の見直しや、自治体からの支援を切に望んでいる。経営状態が良くなければ、看護師等の処遇の改善も困難となる。
- ・感染病棟を開設している状況では、国の補助が得られたが、感染症指定病院ではないため、県の補助は受けていない。経営状況が逼迫している。
- ・収益が職員の給与・ボーナスおよび設備に直結することから、感染指定病院の後方病院として地域の医療を守る役割を担う部分に引き続き予算化し、継続した補填を希望する。行政のPCR検査を行う限り、感染疑い病床は必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症の入院が増えると、夜勤回数の負担も大きくなる。
- ・コロナ専用病棟を確保しつつ、他病棟で一般患者の受入を並行するため、時間外勤務が多くなる。
- ・感染拡大防止策による業務量の増加。職員採用が滞っている現状がある。しかしコロナ感染拡大防止により入院患者に制限がある状況であるため、現在のスタッフ数で対応できているものと思われる。
- ・感染疑い病床・陽性受入病床を確保するためには、必ず看護師の体制を確保する必要がある。診療チームメンバーになる職員も、メンバーにならない職員も看護の質を維持する為に誰もが負担になっている。

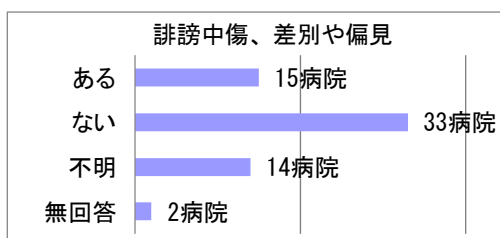
○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困ったこと・苦労していることはあるか。



○困ったこと・苦労していることの内容



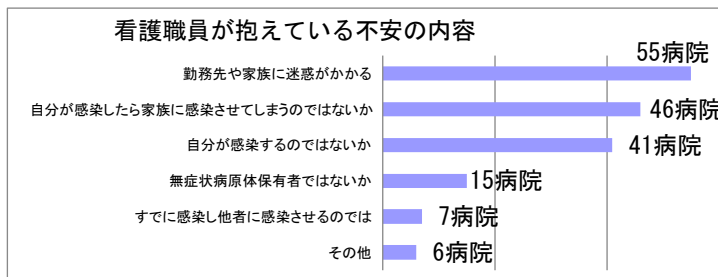
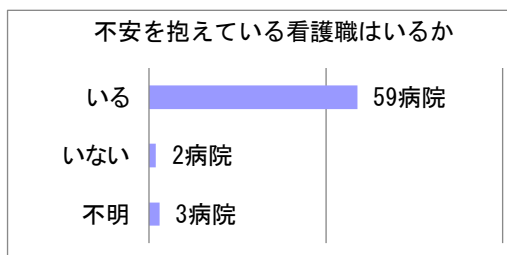
○誹謗中傷や差別・偏見などの実態はあるか。



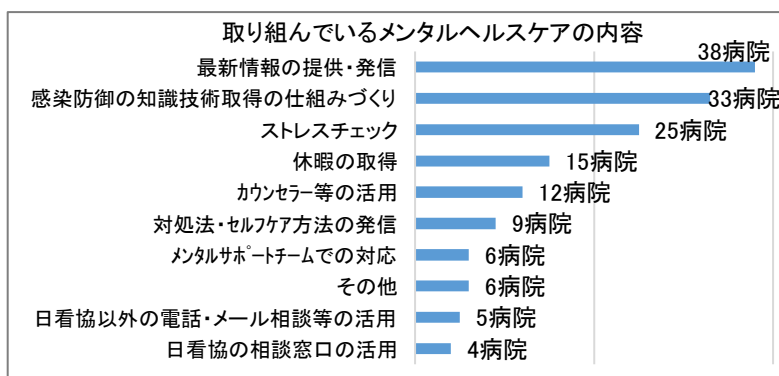
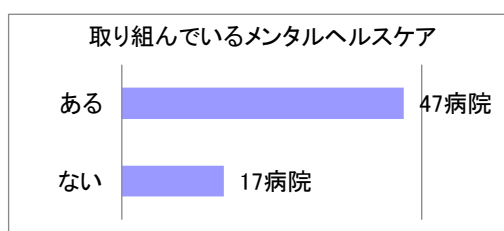
【誹謗中傷や差別・偏見の内容】

- ・職員の感染確認後: 受診を拒否された、施設への立ち入りを拒否された。
- ・子どもの保育園で、病院勤務だが大丈夫か確認された、保育園登園拒否があった。
- ・病院までタクシーを依頼すると拒否された。
- ・通院中の患者さんより、コロナの人を見ている医療者はいるのか？いたら来ないと言われた。
- ・昨年度はあったが現在は無い。

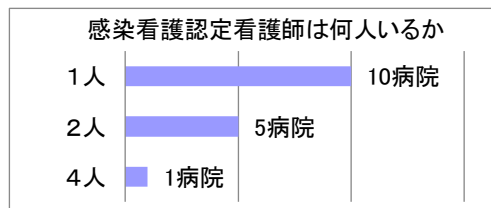
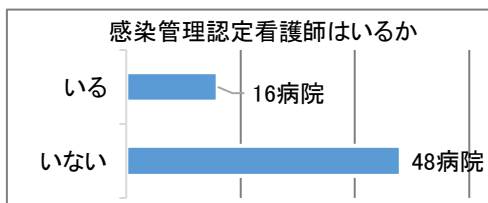
○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、不安を抱えている看護職はいるか。抱えている不安の内容(複数回答)。



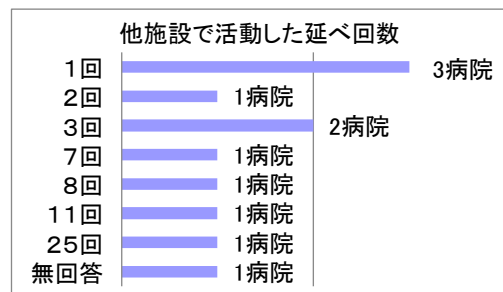
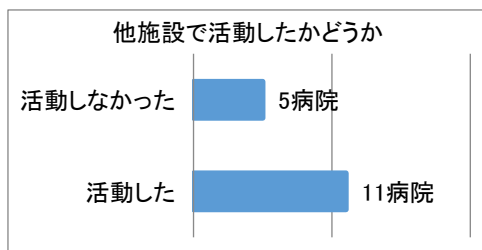
○メンタルヘルスケアとして取り組んでいることはあるか。ある場合のその内容。



○感染管理認定看護師はいるか。いる場合は何人いるか。



○感染管理認定看護師は他施設で活動したか。活動した場合、他施設での活動した述べ回数は何回か。



○今後の課題について

- ・感染拡大、対応の長期化による職員のメンタルヘルスケア
- ・院内で陽性者が出た場合やクラスターが発生した場合の適切な動線やゾーニング、マニュアルや手順、具体的な行動と対応の強化について
- ・感染者を受け入れることになった場合の人選や人員配置、診療制限などの受け入れ態勢の整備
- ・人員不足
(感染者を受け入れることになった場合の新たなシフトが組めない、産休や育休者の増加、この特殊な体制をいつまで維持することになるのか、など)
- ・ワクチン接種に係る業務や人員の調整、業務の煩雑化(ワクチンの種類の混在と入退院にまたがった接種など)
- ・感染管理認定看護師の育成